

すこやか

87

2021.11

～地域になくてはならない病院になる～

特集

- 連携クリニックの紹介 「松井内科」
- おすすめ情報 ぎょうざのお店 艶楼(えんろ)



診療所・クリニックの先生たちとの協力体制を強化することで、患者さまが安心して暮らせる医療提供を目指したい。

内科

特集 内科



地域における中核病院としての役割を明確にし、
診療所・クリニックの先生たちとの
協力体制を強化することで、
患者さまが安心して暮らせる医療提供を目指したい。

インタビュー：内科統括部長

循環器病センター センター長 **鈴木 秀治** 医師

Interview
Doctor **Shuji Suzuki**

**循環器病センターをはじめ、
専門性の高い内科診療の強化を行っています。**

2021年の4月、当院の内科統括部長として着任しました。私自身のキャリアとしては大学病院勤務が長かったのですが、そのうち25年くらいを心臓血管のカテーテル治療に従事していました。当院でも本年より循環器病センターが開設されましたので、自身の経験を活かして、この地域で高度な専門的治療ができる体制を構築してい

きたいと考えています。副センター長の水口先生も経験が豊富ですし、患者さまに寄り添った診療も評価をいただいております、とても心強いです。

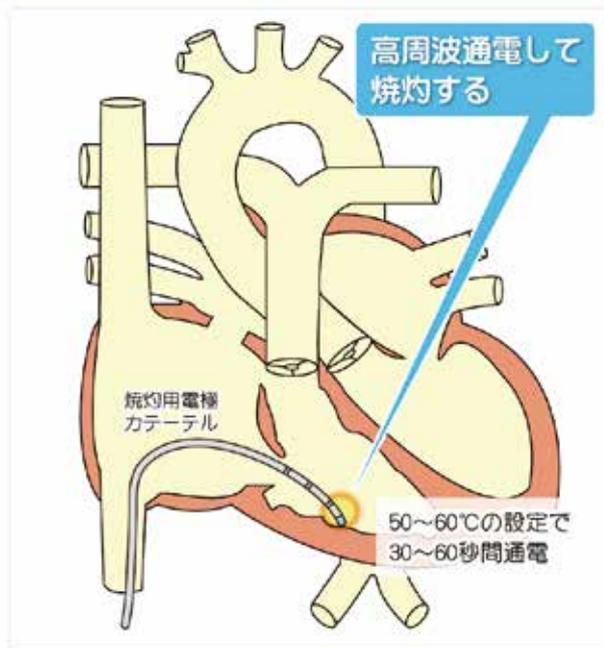
現在は症例数が徐々に増えていっているところですが、今後もさらに症例数を増やしていきたいですし、将来的には救急対応ができるように人員増強を図り、本当の意味で地域の急性期医療を支えられるようにしたいと考えています。

カテーテルアブレーション治療を 10月から開始

また10月からは新たに、カテーテルを利用した不整脈治療である「カテーテルアブレーション治療（カテーテルによる心筋焼灼術）」も始めています。不整脈は、内服治療のみを続けていらっしゃる患者さまでも、日常生活の上での「困りごと」を抱える方が、意外と多い疾患です。カテーテルアブレーション治療は、不整脈の原因となる異常な回路や興奮を発生させている部位をアブレーション（焼灼）して消滅させる治療法です。成功すれば、通常健康時の生活を取り戻せます。そうした患者さまのニーズにも積極的に応えていきたいと考えています。



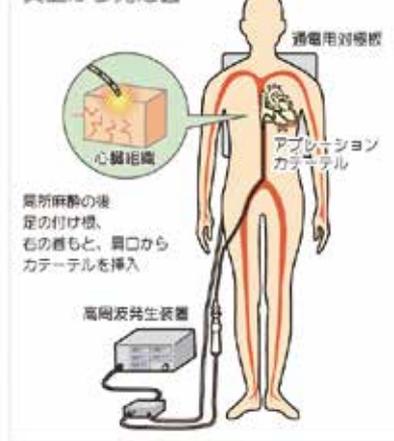
循環器疾患の手術：カテーテルアブレーション



手術の方法

カテーテルを心臓内の標的部位に挿入し、電極カテーテルと体表に装着した対極板との間で高周波通電を行い、不整脈の原因となる部位を焼灼します。

真上から見た図



専門性を活かし、 地域の診療所・クリニックの先生方に 便利に使ってもらえる体制を構築する。



内科全体としてはさまざまな専門分野において医師の増員をいたしましたので、より専門的な医療の提供が可能になりました。またその機能を活かして、いくつかの新しい取り組みもスタートしています。この取り組みについては、地域の診療所やクリニックの先生方との協力体制を構築する点でも、今後の当院における診療の柱として考えています。

10月から内科として新しく始めていることのひとつが、症候外来（特殊外来）です。症候外来とは、一言でいえば「症状だけの外来」のことで、今回開設したのは「不整脈外来」「便秘外来」「胸痛外来」です。当面は当院の地域医療総合支援センターを通して、院外からの紹介患者さまを対象としていきます。

⚡ 不整脈・便秘・胸痛

■不整脈外来

不整脈外来では、循環器病センターと連携した専門的治療を行えます。ご通院されている患者さまで脈の乱れにお悩みの患者さまがいらっしゃいましたら、ぜひご相談ください。レントゲン、心エコーなどの一般検査に加え、24時間心電図、携帯型心電図での診断を行い、内服の調整からカテーテルアブレーション、ペースメーカー治療まで、専門医から必要な治療をご提案いたします。

■便秘外来

消化器内科の先生においてお困りではないと思いますが、そうではない先生からされますと、内服治療が功を奏しなかった場合にどこまで投薬を続けたらいいのか、また検査の必要性など判断が難しいところではないでしょうか。しかし便秘だけで紹介するのも……というのが、現実問題としてあるのではないかと考えております。このようなケースでも、便秘外来を利用させていただきたいのです。必要であれば便秘の原因を検査させていただきますし、場合によっては処方調整だけで済ませられることもあります。

■胸痛外来

長らく臨床に携わっていると、「胸の痛み」を訴えられる患者さまがとても多いことに気がきます。検査結果等から「胸痛の原因」が明らかにこの疾患だろうというものもあると思いますが、そうではなく、「どうしたらいいのか。」というケースも、意外と多いです。そのような患者さまのケースに利用していただきたいのが、胸痛外来です。胸痛外来では原則、胸痛のみを診ますので、まずは胸痛に関する検査を受けていただきます。その上で、必要があると判断した場合に、胸痛に対する適切な治療を行います。

どの症候外来も原則、ご依頼をいただいた専門診療を行いますので、基礎疾患については、かかりつけ医の先生のところまで治療を継続していただく仕組みで運営をしております。当院をサポート的な役割としてうまく使っていただき、患者さまの健康管理のお役に立てればと考えています。

■ 直接教育入院を開始

10月から新しく始めた取り組みであり、当院の外来診療を通さずに、開業医の先生方が直接当院の連携室に入院依頼する仕組みです。現在は、「糖尿病教育入院」「高血圧教育入院」「心不全教育入院」の、3つの教育入院の制度を用意しています。

教育入院自体はこれまでも行っていましたが、患者さまには普段通院している施設と当院の外来を行ったり来たりしていただいていたので、患者さまの負担も大きかったと思います。今回の新しい直接入院制度では、いつも患者さまを診られている先生からご依頼いただければ、事前のコロナ検査のみの実施で入院が可能になります。

一定期間の教育入院を経てかかりつけ医の先生にはお手紙で結果をお伝えし、退院後の患者さまには、当院での外来診療なく直接いつもの先生の所に戻っていただけます。近隣の先生方には直接入院という手段を持っていただき、当院の病棟・入院機能を利用するという形で、連携体制を築いていきたいと考えています。

■ 地域全体の和・輪として

当院はこの地域の中で、病院施設として先進医療分野を担っていると自負しております。近隣の開業医の先生方を始め、医療機関の先生方にもっとうまく利用していただきたいという思いがあります。それと同時に、患者さまにおかれては、疾患をお持ちでも安定した状態であれば通い慣れた先生方の診療を続けていただける方が、患者さま自身の安心感にもつながります。

そのために当院ができることは、当院を利用される患者さまと、近隣の先生方の利便性を向上させる仕組みや環境づくりではないかとの考えに至り、症候外来や直接入院といった新しい取り組みをスタートさせました。

私の考えとして、この地域の総和として医療を充実させていきたいという思いがあります。自身の専門分野だけ、当院だけの発展ということでは長期的に見てうまくいくはずがありません。地域の中での当院の存在意義というものを常に考えながら、地域全体としてまとまったいい形に連携していきたい、地域全体の和・輪としてよりよい医療へ向かっていきたいと思っています。

Dr's Profile

鈴木 秀治 医師 Shuji Suzuki

■ 専門／得意分野
内科、循環器内科

■ 資格
日本内科学会認定内科医
日本循環器学会認定循環器専門医
臨床研修指導医
博士(医学)

■ 略歴
平成1年 大阪医科大学医学部卒業
平成2年 大阪医科大学附属病院
平成11年 大阪医科大学助手
平成23年 大阪医科大学講師
平成27年 大阪医科大学三島南病院副院長
令和3年 神戸百年記念病院 内科
現在に至る



地域医療連携 連携医療機関のご紹介

当院では、地域の医療機関(かかりつけ医)との協力体制を強化し、地域全体として患者さまにより質の高い医療を提供していくことを目的に「連携登録医制度」を制定しています。

ここでは、常日頃よりご協力をいただいている連携医療機関の紹介をしていきます。

今回は、神戸市長田区の **松井内科**、**松井 聖博先生** にお話を伺いました。

松井内科

【所在地】神戸市長田区神楽町5丁目3-20-101

【電話】078-691-6430

【診療科目】内科、循環器内科、アレルギー・リウマチ科

【診療時間】午前9:00~12:30 午後16:30~18:45

【休診日】水曜・土曜の午後、日曜・祝日

幅広い診療を行うからこそ、 「コミュニケーション」を大事にしています

当院は医師3名体制で、内科、循環器内科、糖尿病科、女性内科、アレルギー科、リウマチ科、膠原病科、総合診療科、老年神経科と、幅広い診療を行っているのが特徴です。先代の時よりこの地域では長く診療にあたらせていただいていますので、高齢の患者さんも多くいらっしゃいます。高齢になると複数の医療機関への受診が難しくなることも多いため、「できればここで診てほしい」という声に耳を傾け、各医師の専門性も活かしながら診療の幅も広くしてきました。

当院の診療におけるモットーは、当たり前のことですが「患者さんの話をよく聞いて、しっかりとフィードバックする」ことです。不安を抱えた患者さんにはその不安を払拭するだけではなく、検査結果の意味や治療の必要性をしっかりとご説明して十分にご理解いただくこと、これが診療の基本です。実は私自身、医師になる前はアメリカにテニス留学したり、営業職として社会人だったこともあり。こうした経験も、患者さんとのコミュニケーションに役立っているのだと思います。

最近では、コロナ禍の影響で認知症の方が増えています。認



知症の方は環境の変化に弱いため、緊急事態宣言下での行動制限は良くない状況を生み出しました。神戸市では、65歳以上を対象に自己負担ゼロで認知症診断ができる『神戸モデル』という取り組みを行っています。年に一回は検査を受けていただくことで早期発見にもつながることと合わせ、認知症予防のための生活習慣の改善など、意識づけにもつながると思います。総合診療をしている当院ならではの幅広いフォローアップもできますので、ぜひお気軽にご利用ください。

当院では出来ない精密検査の依頼はもちろん、こうした取り組みについても、神戸百年記念病院さんとは情報交換もしながら、地域医療に貢献していきたいと思っています。



神戸百年記念病院から

松井 聖博先生は、終始やさしい雰囲気でお話を聞いてくださり、昔のテニス留学のお話まで聞かせていただきました。大変なお怪我をされてテニスプレイヤーの道を断念し、ドクターの道へと進まれたそうです。今では奥様である院長先生と一緒にテニスを楽しんでいるそうです。素敵なお二人のお写真を撮らせていただきました!

連携登録医をご希望される医療機関様へ

「連携登録医 登録申込書」をご用意しております。ご希望の場合は、地域医療総合支援センター(☎078-681-6250)までご連絡ください。

地域とつながるハクネンの活動

～地域社会活動の紹介～

神戸市婦人団体協議会 様 主催 あじさい講座

開催日時 2021年10月22日(金) 開催場所 神戸市立婦人会館

『健康で元気に100歳を目指す』をテーマに開催される神戸市婦人団体協議会様が主催される『あじさい講座』にて、当院副院長、地域医療総合支援センターセンター長の西岡 昭彦医師が登壇し、『知っておきたいおなかの話～胆石症の診断から治療まで～』と題し、講演を実施しました。



長田区介護リフレッシュ教室

開催日時 2021年10月26日(火) 開催場所 長田区役所 6階 多目的室

認知症の患者さま、またそのご家族を対象に、日常での介護にまつわる悩みなどを話し合い、交流することで、精神的負担を軽減することを目的に「介護リフレッシュ教室」を開催しています。今回は、当院認知症疾患医療センターの精神保健福祉士の篠原が『認知症講演会』で登壇しました。



神戸百年記念病院 職員のおすすしめ情報

おすすめ情報

和田岬駅から徒歩2分！にんにくなしの一口餃子は女性にも大人気。

ぎょうざのお店 艶楼 (えんろ)

和田岬駅の1番出口から徒歩2分、高松線沿いにある「ぎょうざのお店 艶楼(えんろ)」さん。ご夫婦で経営されているアットホームなお店です。ランチにお邪魔しましたが、気さくな奥様が丁寧に接客くださいました。特長的なのが『にんにくが入っていない、一口サイズの餃子』で、女性からも人気！にんにく入りの味噌が別で用意されているので、お好みに合わせて食べられます。セットメニューも豊富で近隣の会社からお客さんも多数いらっやっています。

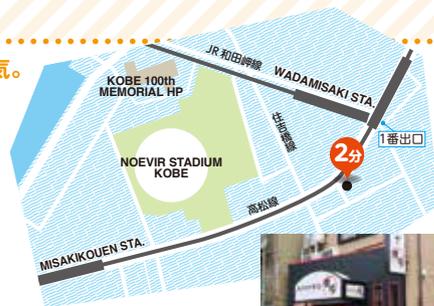
焼き餃子はもちろん、水餃子や、から揚げもまたまろやかな味で美味しいです！夜は一品メニューを多数そろえ営業しているので、ビールのお共に最高です！想像しただけでたまりません！

◀水餃子・焼豚丼セット

焼餃子にプラス、水餃子と焼豚丼を加えた
贅沢なセットメニューです！

▶甘酢からあげセット

甘酢のからあげであるからあげと餃子のセット！
これも絶品！ご飯が進みます！



神戸市兵庫区笠松通 7-2-14

☎ 078-671-8089

🕒 11:30 ~ 14:00 17:00 ~ 23:00

🛑 月末最終の日曜日

※スタジアム開催日は営業

📍 和田岬駅1番出口から徒歩2分

～院内イベントのご紹介～

マンモグラフィーサンデー

実施日: 10月17日(日)

日本乳がんピンクリボン運動の賛同医療機関として、年に一度、10月の第3日曜日に実施しているイベントです。今年は29名の方に受診いただきました。今年からは、要精査に該当した方には当日の超音波検査も対応可能となり、より便利に検査をいただける体制を整備して実施しました。



～神戸市 認知症疾患医療センターとしての取り組み～

令和3年度

第1回 メモリーサロン開催

認知症疾患について

コロナ禍でのメモリーサロンでは、動画にて皆様に認知症疾患や症状について知っていただきたいという思いから講座を4つのテーマに分け、動画で配信をしています。どうぞご覧ください。宜しくお願致します。

動画講座 テーマ

- 認知症について
- 脳血管性認知症とは
- アルツハイマー型認知症とは
- レビー小体型認知症とは



講師

認知症疾患医療センター
精神保健福祉士

篠原 隆宏

当院ホームページにアクセスいただき、ご視聴ください

<https://www.kobe-century-mh.or.jp/dept/ninchishoushikkaniryu-center/>



出張公開講座や、健康教室など地域のイベントにも積極的に参加しています。ぜひ、【地域医療総合支援センター】までお気軽にご相談ください。

TEL.078-681-6111

FAX.078-681-6118



医療法人社団 顕鐘会

神戸百年記念病院

〒652-0855 神戸市兵庫区御崎町1-9-1
<http://www.kobe-century-mh.or.jp>

